

## ～コミュニケーションの方法は言葉だけじゃない！！～

### 【はじめに】

みなさんは私たちが普段の生活でどうやって意思疎通をしているのか考えたことがあるだろうか。私は、このコラムを書くまではしっかり考えたことがなかった。なぜなら、声が出せて、言葉を話せて、相手の声が聞き取れて、相手の目を見ることができる、このような生活を当たり前だと思っていたからである。実際には、私たちは“言葉”を使うことでほとんどのコミュニケーションを行っている。しかし、盲ろうであったり、知的障害で言葉を話す、理解するのが難しかったり、などの状態の人も多くいる。知的障害によって言葉が習得できていない、または、聴覚障害で言葉を話すことができないなど、言葉を話せないにも様々な状況がある。

では、このような言葉を使わない方たちはどのようにコミュニケーションを取っているのだろうか。

### 【言葉以外のコミュニケーション方法】

#### ① 手話法、マカトン法

手話法は、みなさんがよく知っている通り、言葉を手で表して伝える方法である。これに対して、マカトン法とは、手話法よりもより簡単で分かりやすいジェスチャーを使った幼児や手先が器用でない人向けのコミュニケーション方法である。

#### ② 合図、ジェスチャー

これは、①の方法と似ているが、何か決まった合図やジェスチャーを作って意思を伝える方法。特に、家庭で子どもが小さい時から親と決めて使っていた合図やジェスチャーで会話をするなどということである。

（例）何かを開けたいときは、トントンと2回たたく合図をしてもらう。

#### ③ 絵カード

生活の中でよく使うものやよく行く場所などの絵をかいたカードを使って意思を伝える方法。

（例）トイレに行きたいときは、トイレの絵カードを相手に持っていく。

#### ④ 質問の仕方を工夫

これは、言葉を話せない人に対して、Yes, No で答えられるような質問をする方法である。こうすることで、うなずいたり、首を振ったりするだけで意思が伝わる。

（例）このお茶まだ飲む？

～参考資料～

- [言葉が話せない子にもコミュニケーションの楽しさを！その方法とは？【LITALICO 発達ナビ】 \(h-navi.jp\)](#)

•